

職員の提案を生かした DX で産前産後家事・育児支援 事業に利用時間管理システムを導入

- 【ポイント】 ●年間 1,200 時間超の業務量削減効果（従来の 5 分の 1 に！）
- 利用者は二次元コードを読み取るだけで簡単に利用時間の管理が可能に
 - 職員は利用実績をリアルタイムで把握でき、業務効率が向上



区では、多様化・高度化する区民ニーズに的確に対応するため、DX 改革を推進しています。その取組は、デジタル技術の導入にとどまらず、現場で業務に携わる職員一人ひとりの気付きや提案を大切に、実効性のある業務改善につなげることを重視しています。

その具体的な取組の一つとして、このたび、現場職員から提案されたアイデアを基に、産前産後家事・育児支援事業において、利用時間管理システムを新たに導入しました。これまで課題となっていた利用実績の個別確認に要する手間を見直し、利用者にとって「使いやすく」、職員にとって「把握しやすい」仕組みへと改善しました。港区では今後も、現場の声を生かした DX の取組を通じて、区民サービスの質の向上と、持続可能な区政運営を進めていきます。※この取り組みは、区政の課題解決に顕著な功績を残した職員を表彰する「港区業務改善表彰」の令和7年度区長賞を受賞しました。

1 背景

これまで本事業では、登録番号（個人 ID）を紙や区公式 SNS の個別通知で発行しており、利用者は、ID や利用可能な残利用時間数を自ら管理する必要がありました。

また、区職員においても、利用時間数に関する問合せを受けた際には、そのつど各事業者へ利用実績の確認・集計を行う必要があり、業務効率の面で課題がありました。

2 今回の改善

新たに導入した利用時間管理システムでは、利用者がオンラインで ID やデジタルクーポンを受け取り、利用当日は、事業者が提示する二次元コードを読み取るだけで利用時間数が自動的に消費・反映される仕組みとしました。これにより、利用者は利用状況や残時間数を分かりやすく把握できるようになるとともに、区職員も、利用者別・事業者別の利用実績をリアルタイムで確認できるようになり、業務の効率化と正確性の向上を実現しました。

【問合せ】

子ども家庭支援センター 所長

電話：03-5962-7204



つながる港、つなげる未来

港区は令和9年3月15日に
区政80周年を迎えます